SPECIAL TOPICS 1

やませ大盆踊り大会2012

1／景気付けのもちまき大会。我先にと手が伸びます
2／ハワイアンで盆ダンス！
3／軽快な太鼓も集まれば迫力があります

大勢が参加者した大盆踊り大会。会場は夏の暑さにも負けないくらいの熱気に包まれました

世代をつなぐ大盆踊り大会

ふるさとの盆踊り

やませ大盆踊り大会2012は8月21日、やませ土風館で開催。夕日が沈んでも暑さが残る中、会場には約千人が集まり、やぐらを中心に大きな踊りの輪をつくりました。

主催した久慈市観光物産協会の細田稔男会長は「ナニャドヤラは地元が誇るお盆の踊りです。ふるさとの踊りをみんなで楽しみましょう」と開会のあいさつ。恒例のもちまきを行った後、盆踊りが始まりました。

太鼓の音色で熱く

やぐらの大太鼓と夜明けガラス保存会の皆さんによる唄に呼ばれるように、太鼓を持った参加者の列を先頭に親子連れや浴衣姿、海女に仮装したグループなど大人から子どもまで次々と踊りの輪が広がります。

軽快な太鼓の音色に誘われて参加した観客も、一周する頃にはゆったりと流れるような踊りに呼吸を合わせ楽しんでいました。終盤に近付くにつれて踊りの輪は三重、四重と広がり、会場は熱気に包まれました。

踊りの後は、お待ちかねの懸賞抽選会。今年は自転車や地元の特産品など約百本の景品が用意され、参加者は番号が呼ばれるたびに大きな歓声をあげて盛り上がっていました。

やませ大盆踊り大会は今年で4回目。世代をつなぎ、伝統文化を伝える街なかの新たな風物詩として定着しています。

INTERVIEW

最高に気持ちよかった

地元の太鼓サークル「久慈琥珀太鼓」のメンバーで参加しました。太鼓を始めてから3年目。土風館で踊るのは初めてで不安もありましたが、最高に気持ちよかった！たくさんの参加者と一緒に踊れて本当に楽しかったですよ。

中平　光子さん（夏井町）

地域がつながるっていい

帰省中に母と子どもと来ました。久慈の盆踊りは初めて見ましたが素敵ですね！太鼓が入った踊りは地元に無いので新鮮。小さい子も踊っていたので驚きました。地域がつながるっていいですね！

左から・佐々木　ゆたかさん（茨城県）
佐々木　亜由美ちゃん（茨城県）
佐々木　勝　子さん（長内町）

SPECIAL TOPICS 2

平庭闘牛しらかば場所

1／今回は東京闘牛の会の方々も応援に駆け付けました
2／分かりやすく解説をする柿木由松さん

迫力のぶつかり合いに観客は釘づけ！

目前の熱戦 名を呼び応援

市内外から約8百人

平庭闘牛大会しらかば場所は8月26日、残暑厳しい晴天の下、平庭高原闘牛場で行われました。今回の大会では2歳から15歳までの牛22頭による取り組みが行われ、市内外から約800人の観客が訪れ、東北唯一の闘牛を楽しみました。

迫力のぶつかり合い

オープニングセレモニーでは、いわて平庭高原闘牛会の松坂義雄会長が「熱戦が期待されるので、観戦者の皆さんはひいきの牛の名前を呼んで応援してください。牛は名前を呼ばれると奮起します。勢子も牛も一体となって頑張っていきます」とあいさつをしました。

取り組みが始まると、柿木由松さんが試合の流れなどを解説。分かりやすい説明に観客は闘牛への理解を深めていました。目の前で繰り広げられる迫力のぶつかり合いに、牛の名前を呼んで応援する観客の姿も見られました。

取り組み終了後、松阪会長は「牛は暑さ弱いので、この暑さが闘牛にどう影響するか心配でしたが、なかなか見応えのある内容だったと思います」とほっとした表情で話していました。

次回は平庭闘牛もみじ場所が、10月14日(日)に開催されます。今年最後の平庭闘牛、まだ見たことがない人はもちろん、見たことがある人も会場で牛と勢子により繰り広げられる熱い戦いをぜひご覧ください！

INTERVIEW

迫力の取り組み！

闘牛を行っているのは知っていましたが、見に来たのは今回が初めてです。思っていた以上に牛が大きく、どの取り組みも迫力がありました。また次回見に来たいと思いました。

久慈　博　幸さん（小久慈町・左）
夕起子さん（小久慈町・右）

次回の取り組みにも期待！

山木龍は、同じ相手に同じ戦い方をしない牛。今日の対戦相手は同じ牛舎にいる牛だったので、戦いづらかったかもしれません。次回の取り組みでも横綱らしい戦いに期待しています。

山木龍オーナー　石井　達雄さん（千葉県）